



European Federation of Pharmaceutical
Industries and Associations

第5回 PASE AWARD 2022 結果



応募テーマと選考手順

応募テーマ

ニューノーマル下で患者さんがよりよい治療・生活を実現するための患者団体活動

選考手順

第1次選考

応募のあった**11団体**からの資料について、応募条件を満たしているかを書類審査

第2次選考

応募内容をテーマに沿って審査し、**5団体**を選出

最終選考

5団体のプレゼンテーションと質疑応答の内容を審査、大賞**1団体**を選出

評価項目と最終選考委員について

評価項目

1. 患者団体として明確な目的を持ち、目標（成果指標）を明確にしていること
2. 過去の活動において目的達成に向けた具体的な成果を示していること
3. 助成金を用いる活動の具体的な実施計画を持っていること（助成金の利用方法を含む）
4. 助成金を用いた活動の結果の周知等に協力できること（EFPIA Japanウェブサイト掲載の許可、団体自身のウェブサイト等での告知および報告）

最終選考委員

- 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野教授 中山 健夫先生
- EFPIA Japan 会長 岩屋 孝彦 (サノフィ株式会社)
- EFPIA Japan 副会長 レオ・リー (ノバルティス ファーマ株式会社)
- EFPIA Japan 理事 ポール・リレット (グラクソ・スミスクライン株式会社)
- EFPIA Japan ガバナンス・法務委員会 委員長 松村 佳奈 (日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社)

第5回 PASE AWARD 2022:受賞団体

受賞名	受賞団体	応募内容の概要
大賞	認定特定非営利活動法人 希望の会	胃がんに関する啓発冊子作成事業
健闘賞	特定非営利活動法人 がんフォーラム山梨	「インターネットラジオ(I.R)」で当事者や家族たちの想いを受け止め、共感する仕組み作り
健闘賞	一般社団法人 てくてくぴあねっと	ニューノーマルな闘病と子育てに関する冊子作成事業
健闘賞	特定非営利活動法人 凸凹ライフデザイン	「発達障害者と周囲のコミュニケーションのすれ違い」に関する事例の分析と結果の活用
健闘賞	特定非営利活動法人 頭頸部がん患者友の会	アンケート調査の実施と、他の頭頸部がん患者会と連携し、患者さんと医療従事者双方が参画するシンポジウムの開催

第5回 PASE AWARD 2022:大賞

認定特定非営利活動法人

希望の会

「胃がんに関する啓発冊子作成事業」